新年度予算に係る要望

〔会派名 日本共産党仙台市議団〕

1.全市にわたる要望事項

整理番号	要望事項	要望内容
1	教育環境整備	35人以下学級を小学校にも拡充すること。
2	教育環境整備	特別支援学級の定数を「8人以下」から「6人以下」にすること。
3	教育環境整備	教員の採用をさらに増やし、教員の多忙化解消をすすめること。
4	教育環境整備	養護教諭を各校に複数配置することを目指し、まずは生徒数500名を超える中学校には複数配置すること。
5	教育環境整備	学校事務職員の各校複数化で教職員の事務負担を軽減すること。
6	教育環境整備	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの増員をさらにすすめること。
7	教育環境整備	就学援助制度の修学旅行費は保護者に立て替え払いをさせることなく前渡し支給を行うこと。
8	教育環境整備	就学援助制度の収入基準を大幅に引き上げること。
9	教育環境整備	学校施設の大規模改修を急ぐとともに老朽化している学校のトイレや調理室の改善など必要な改修も先送りせず進めること。

新年度予算に係る要望

整理 番号	要望事項	要望内容
10	教育環境整備	給付型奨学金制度を創設すること。
11	子育て支援	公立保育所廃止民営化計画を中止すること。必要な保育所の老朽化対策を実施すること。
12	子育て支援	保育士の処遇改善については対象を拡大し、金額を拡充すること。
13	子育て支援	公立保育所の保育士の欠員が生じないように正規採用を増やすこと。
14	子育て支援	保育所、幼稚園等の副食費への補助を行うこと。
15	子育て支援	市独自で民間への支援を行って全年齢型保育所を増やすこと。
16	子育て支援	子ども医療費助成のワンコイン負担をなくし、所得制限を撤廃すること。対象を高校卒業まで拡大すること。
17	子育て支援	入学援助金は、生活保護世帯と就学援助受給世帯に新たな差が生じていることから復活させること。
18	子育て支援	児童クラブが大規模化し、サテライトなどで対応しているが、独立した児童クラブとしてそれぞれ充実をはかること。
19	若者支援	奨学金返還支援制度は医療機関などにも対象を拡大し、対象人数を増やすこと。また、中小企業の認定にあたっては、中小企業の半額負担を要件とするのをやめること。

新年度予算に係る要望

整理 番号	要望事項	要望内容
20	若者支援	若い世代、子育て世代に対する家賃補助制度を創設すること。
21	若者支援	学都仙台フリーパスは、一般会計から支援を行って、民間事業者や地域交通にも適用できるようにすること。
22	医療・介護・障害者支援	高すぎる国保料を引き下げのため、基金の取り崩し、一般会計からの独自繰り入れを行うこと。子ども減免を拡充し、子どもの均等割をなくすこと。
23	医療・介護・障害者支援	地域包括支援センターは高齢者人口に関わらず、中学校区ごとに配置し、人員体制を強化すること。
24	医療・介護・障害者支援	加齢性難聴の補聴器購入への支援を行うこと。
25	医療・介護・障害者支援	介護職員の処遇改善を市独自で行うこと。
26	医療・介護・障害者支援	心身障害者医療費助成制度は、所得制限をなくし現物給付（窓口での一時立て替え負担解消）とすることで、医療機関や市の事務量は減り、当事者には負担軽減となり喜ばれるものとなる。ぜひ実施すること。
27	医療・介護・障害者支援	放課後等デイサービス、障害者就労施設への市独自の経済的支援を行うこと。
28	被災者支援	復興公営住宅の収入超過世帯の家賃値上げをやめ、市独自に減免を行うこと。
29	被災者支援	あすと長町復興公営住宅の日照対策を行うこと。

新年度予算に係る要望

整理 番号	要望事項	要望内容
30	公営住宅の環境改善	復興公営住宅を含め市営住宅に、支援員を配置すること。集会所の光熱水費の支援を行うこと。
31	公営住宅の環境改善	復興公営住宅を含め市営住宅共用廊下等のLED電球の交換は自治会負担とせず市の責任で行うこと。
32	公営住宅の環境改善	市営住宅の風呂釜の更新は抽選ではなく15年以上のものについては早急に対応すること。
33	公営住宅の環境改善	市営住宅の修繕戸数をもっと増やして積極的に募集に出すこと。
34	公共交通の充実	バス路線や便数の削減・料金値上げでますます利用者が減る「負のスパイラル」から脱し、公共交通の充実は交通局任せではなく、市が責任を持って行うこと。
35	公共交通の充実	地域交通スタート支援事業は、試験運行の目標収支率を柔軟なものにすること。本格運行への補助は高齢化率などを勘案し、幅を持たせた制度とすること。
36	公共交通の充実	敬老乗車証は地域格差をなくすため、未適用の民間事業者や地域交通にも適用し、利用上限を撤廃すること。
37	ジェンダー平等、多様性推進	多様な性のあり方についての理解促進と専門部署や相談窓口の設置をすすめること。
38	ジェンダー平等、多様性推進	同性パートナーシップ制度を市民とともに創設すること。
39	ジェンダー平等、多様性推進	市立中学校・市立高校の制服を選択できるようにすること。

新年度予算に係る要望

整理 番号	要望事項	要望内容
40	ジェンダー平等、多様性推進	公共施設のトイレは、多目的トイレを増やすなど多様性に配慮したものとする。

新年度予算に係る要望

担当局
教育局
子供未来局
健康福祉局
子供未来局
経済局

新年度予算に係る要望

担当局
都市整備局
都市整備局
健康福祉局
都市整備局
都市整備局

新年度予算に係る要望

担当局
健康福祉局 都市整備局
都市整備局
健康福祉局 都市整備局
市民局
市民局
教育局

新年度予算に係る要望

担当局
市民局